

# 創学舎ニュース

Sougakusha News

## No.361

積み上げてきた、一問一問が受験の時の力になります。最後まで気を抜かず頑張ろう!!  
(松永 弘文)

受験できることを、努力できることを感謝できますか。  
(柳 善一)

入試は近い。自分の力を信じて、他人と比較することなく、目の前の問題に集中せよ。規則正しい生活を守り、睡眠をきちんと取り、毎日計画に沿って学習せよ。結果は後からついてくるものだ。  
(大場 健司)

この一年頑張ってきたことは、神様が見ています。入試ではきつとその神様がみんなを後ろからそっと支えてくれるはず。残りわずか、最後まで頑張ろう!  
(長坂 浩之)

受験の選択肢に「合格」と「不合格」の二択はありません。「合格」か「諦めるか」の二択です。諦めない心があれば、あなたを合格に導きます。  
(村田 寛之)

入試までに残された時間は少なくなりましたが、やり方次第ではまだまだ得点力は上がります。決してあきらめず、最後の最後まで正しい努力を続けてください。  
(村上 静馬)

人は歩みをとめた時に、そして挑戦をあきらめた時に年老いていくのだと思えます。受験に向けて前進あるのみ!!  
(上條 純一)

受験生になったとき、きみは、どういう結果を望んだか?もう一度思い出せ。毎日思い出せ。三月をどういう気持ちで迎えるのか?よく考えろ。毎日考えろ。そして、残された日々を瞬間の無駄もなく大事に過ごせ。  
(小林 健輔)

これまでの努力を無駄にしないよう、最後まで気を抜かず!真剣に取り組むその姿は、何にもまして美しい!  
(小池 寿幸)

体調にはくれぐれも気をつけて。100%の状態を挑みましょう。  
(上野 真宏)

悩んだ分だけ、手を動かした分だけ確実に実になっている。自分を信じて突き進め!みんな!!  
(森 清志)

将来の可能性を切り開くために、ブレーキを踏まずに少しずつでも前に進みましょう。きっと春には笑顔になります。応援しています。  
(岡本 武)

「倒れまいとして次々に足を前に出す、それが走るということだ、全力疾走をすれば決して倒れることはない、最初に二本足で立ち上がった猿は、きつと全力で走ったんだ。ガゼル、俺は走るぞ」(村上龍「コインロッカー・ベイビーズ」より) : 君たちにも、ついにその時が来たんだ。おめでとう!  
(関 憲吾)

これまでの「努力」と、身についた「学力」、今こそ「合格」という二文字のために使おう。最後まで自分を信じ、必ず結果を出してこよう。君ならできる!と応援しているよ。  
(新島 景子)

つらいときも投げ出さずに頑張ってきた思いのたけを試験にぶつけよう。  
(大久保 宏美)

受験まであと少し!今までの努力を信じて突き進もう!  
(上田 悠介)

頑張っている姿を見せてくれてありがとう!絶対に、みんなと一緒に笑えますよ!!  
(池田 恵理)

なすべきことにひたすら集中!!実力は直前で驚くほど伸びる!最後の最後までけっして諦めないこと!!  
(高橋 力)

【今】という時間を集中する。あなたがなんとも思っていない【今】は、一時間前に亡くなった人が、なんとかして生きてきたかった、なんとしても生きてきたかった、それが【今】なんです。そう考えたら、【今】を無駄にしないで、誰もができない。【今】こそ、一緒に  
【今】より先の未来のために集中しよう。  
(松尾 裕史)

いつも、快活で、上機嫌で過ごせたら吉。今日もいつもと同じく、勤勉に、謙虚に、感謝の気持ちを持たない。誰にもできるわけではない、その方法が合格を運んでくれる。  
(大山 司)

今まで一緒に頑張ってきましたね。「あれだけ頑張ったのだから!大丈夫!」と自信につながるように毎日コツコツ積み重ねよう。そして結果と一緒に受けとめよう。国語の時間に伝えたことをぜひ思い出してください。  
(関野 光希子)

「明日」とは明るい日と書きます。明日が明るい日になるように今日を頑張ろう。  
(寺島 大樹)

「できない」理由を考えるな!どうすれば「できる」かを考えなさい!「できない」と思っても「できる」と思っても描いた未来が現実になります。あなたがあなた自身の手で、描いた夢を掴み取れますように。  
(檉村 公太)

入試は目前!今自分ができること一つ一つに集中して取り組もう!結果は必ずついてきます。  
(服部 恵治)

不安になったら「合格へのパスポート」を見よう。大量の宿題のメモと、色鮮やかなチェック表がきつとあなたを勇気づけてくれます。  
(高寺 大介)

この講習の成果で受験結果が決まってしまうことでしょう。人生が決まると言っても過言ではありません。だからこそ、「One more set!」です。このような努力の結果、君たちは合格発表の後にこう称賛されるはず。「Good job! You win! Victory!」。  
(山崎 将之)

もうすぐ受験のシーズンがやってきますね。志望校合格、その目標達成に向けて日々努力を重ねていると思います。受験まで残された時間を大切に、全力でがんばってください。  
(比嘉 あかね)

受験まで残りわずか。ここでの頑張りや本番での自信に繋がります。試験中、解答に迷いたくなかったら、精一杯勉強を頑張ろう。(矢上 有一)

緊張したり、焦ったりすることは誰でもあることです。諦めない皆さんを応援します!一緒に頑張りましょう。  
(浅岡 茜里)

受験当日に大切なことは、いつも通りのやり方で解くことです。焦ることなく平常心で臨みましょう。  
(澤田 秀樹)

やらないです後悔は、一生の傷。大人になってから、この数日、頑張った良かった!と言え経験になるように、全力で、取り組もう。とにかく前進!!  
(阿部 浩明)

あなたの努力に見合った結果がいつか来るはず。リラックスして臨んでください。応援しています!  
(中野 桃花)

山高み 雲井に見ゆる 桜花心のゆきて 折らぬ日ぞなき  
凡河内躬恒(古今和歌集より)  
諸君が納得できる結果が出せますように!  
(鮎澤 崇嗣)

### 受験生への



### メッセージ

決意は大切。しかし、実行はもっと重要。これを読んだら、またすぐ一問しっかり解く!シャーパーンの先から煙が出るくらいガリガリ解く!  
(五日市 浩)

今後一点を争う受験本番を常に意識して日々の勉強に臨んでください。そして受験当日は受験の練習だと思ってリラックスして受けてみてください。「練習は本番のように本番は練習のように」  
(間方 浩紀)

Keep climbing! 今より上のさらに上に向かって。少し先の自分を想像しながら、一日一日を大切に過ごそう。  
(本多 隆範)

# 叱り方のバランス

最近、国語の授業で「子どもの叱り方」についての文章を扱った。子どもを叱るときはバランスが重要で、例えば母親が叱ったら父親が慰める(その逆も然り)というように、叱る側とフォローする側のバランスがしっかり保たれていないと、子どもの逃げ道がなくなってしまう、という話である。普段国語が苦手な子どもたちが食いつくように文章を読み、「本当にそのとおりだ!」と訴えてくる生徒もいた。この「子どもの叱り方」で自身の中学生時代を思い出したので少し紹介したいと思う。

中学一年生の初めての中間試験。小学校とは全く異なり、教科が増え、覚えなければならぬことがありすぎる。当時塾に通っていた(父ができたのは英語だけだったが)。父はもともと短気な性格ではあったが、勉強を教えるとなると鬼のように恐かった。「なんで同じミスをするんだ!」「どう考えても違うだろ!」、時には「やる気がないならやめてしまえ!」と言って教科書を捨てられそうになったこともある。これは本当に悲しかった。やる気がないわけではないのに、期待に応えられない自分が悔しかった。

勉強を教えてもらい、毎回のようにならされて泣いていた私を支えてくれたのは、もちろん母親である。「大丈夫だよ。今だけ我慢したら、そのうちパパのほうで教えられなくなるから。だから頑張れ。」それから私は、父が私に教えられなくなる日を心待ちにして、勉強に励んだ。今でも覚えているのだが、その初めての中間試験前の休日は一日十時間も勉強した。おかげで成績は上位で中学高校を卒業することができた。思い返してみると、母がいなかったら私の心は折れていただろうし、勉強に対する意欲もなくなっていただろう。そんな私が、今、生徒を前にして授業を

している。あんなにできなくて泣いていた英語を教えている。これには自分でも驚いているが、あの涙の日々を思い出すと、「よく頑張ったね、もうパパは勉強を教えられなくなったよ。」とあの頃の自分に言っていたい。そして、子どもが泣く姿を見ながらめめげずに教え続けてくれた父、毎回慰め感謝の気持ちで伝えた母、それぞれにここで感謝の気持ちを伝えたい。

さて、我々は教師として皆さんを教えている以上、時にはかなり厳しいことも言わなければならぬ。それをありのまま受け入れなさい、とは言わないが、どの教師も皆さんの成長を願って言っているということとはわかってほしい。そして、保護者の方々も、「子どもを叱るバランス」というものを考えていただきたいと思う。

逃げ道を失った子どもは、あまりに不憫である。(池田)

## 入試に強くなる心の作り方①

●大学入試で三日連続で白紙答案の人が立教合格。駆け込んで来たのは立教の入試の前日。まあよく泣いた。涙がかれるほど泣かせて、気持ちの整理をさせた。

●第十一志望だけ受かって、そのあと九連敗の人が第一志望の早稲田合格。彼女も気持ちの整理を徹底してやった。

●「もうダメ!絶対落ちた!どうしよう!」と大泣きの生徒が、次の日慶応を受験して合格。電話口でここまで泣けるのかと思うほど泣いた。授業直前にうけた電話で、とりあえずの指示だけして、授業後十時から再び電話で対応。

●こんな例がいくつもあつた。ここまで極端ではなくても、受験生であれば、それぞれに不安や絶望や無力感を何度となく味わっているはず。でも受験から逃げることはしたくない。どうすればいいのか?

●方法はある。自分の気持ちや性格、失敗のパターンをしっかりと分析することだ。分

析すればどうしたらいいか見えてくる。ただ、過去に経験のないことだから、「やれ」といわれてもなかなかうまくいかない。そこで、ささやかなお手伝い。よく読みなさい。

●①不安で勉強できないというキミは本当にそれでいいのか?そんな過ごしかたをするためにこの一年を過ごしてきたのか?よく考えろ。

●②不安で勉強できないというキミが本当に望んでいることは何か?キミはもう忘れてしまっている。全力を出して合格することではないのか?毎日全力を出して合格すると十回唱えろ。

③キミの不安は全て想像だ。不安に思うことは正しいが、それをひきずるのは自分の願望を裏切ることだ。

④(1)間に合わなかったらどうしよう。(2)伸びない気がする。(3)受かる気がしない。(4)落ちたらどうしよう。

↓思うのは正しい。でも、それにひきずられて毎日過ごせば、不安はどんどん大きくなり、そこにきちんと勉強していかない自分へ自己嫌悪が加わり、もつと状態は悪くなる。といって、不安は消すことはできない。不安は持ったまま、合格の可能性が少しでも大きくなるよう行動するのだ。

以下次号(小林)

### ★大学受験・高校受験の当日の注意★

- ① 腕時計を忘れるな。
  - ② 鉛筆、消しゴムはたくさん持っていけ。(中学生は定規・コンパスを忘れるな!)
  - ③ トイレは早めに行く。テスト直前に行つて混んでいたら?あきらめて我慢するのは最悪です。テスト開始に多少遅れても済ませるべき。我慢している状態では解けません。また、大学入試でトイレレットペーパーがなかったという事態がありました。ポケットティッシュは多めにポケットに入れておくこと。
  - ④ あがつてしまったら、必ず作業する。言葉で自分を落ち着かせようとしてもムリ。手をさすったり、体操したり、手をふったり、深呼吸をしたり、文房具の手入れをしたり。作業に集中することで落ち着きます。
  - ⑤ はつたりに負けない。「できたぞ。」「やさしかったよな。」「おれ満点かも。」と大きな声で周りを威圧する人がいます。無視。流されてはいけません。
  - ⑥ 傾向が変わったら大チャンス。みんなビビります。当然、あなたもビビります。大事なものは、その先。みんなビビつて頭の中が真っ白のはず。だから、「みんな点は伸びないぞ。自分はその先。落ち着いて、とれる所を確実に解いて、合格に近づこう。」と考えるのです。おぼえておいてね。
  - ⑦ 保冷剤は役に立ちます。頭がポツとなつたとき、休み時間に、首やほっぺにあてるとすっきりします。
  - ⑧ 三教科あれば一教科、五教科あれば一教科や二教科失敗するのは当たり前。  
\*一教科失敗↓引きずって失敗  
\*一教科失敗↓気持ちを整えていつも通り○  
どちらがいいか分かりますよね。失敗したことをひきずらないで、他の教科をきちんとやれば合格に近づきます。
  - ⑨ 昼食後、眠くなる人は、食べるものを工夫する。給食のあとの五時間目に眠くなる人は、テストのときも同じことになりません。昼食をゼリー・プリン・みかんなどにかえると、かなりよくなります。これも模試のときから練習すること。
  - ⑩ 会場は暑すぎたり寒すぎたりすることがある。暑いときは上着など脱げるように、また寒いときはカーディガンを着たりホットカイロを使ったりできるように準備しておくこと。
- ⑪ 残された模試の回数は少ないと思いますが、模試のときも必ず右のことを読んで、覚え込んで行くこと。本番に備えての練習です。